

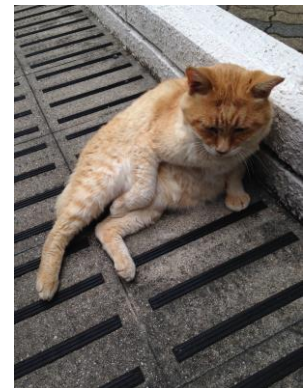
## お茶の水大学で留学生活

エジュレ・カラダ ( イギリス・ ロンドン大学ソアス )

今はお茶の水大学で一年間ぐらいになりましたのでとても複雑な気持ちがあります。今まで一番意識したことは、この経験が忘れがたいのです。

日本に来る前に、ソアスで二年間ぐらい日本語を勉強しました。その頃は、読解と作文を集中して勉強しましたので、聴解や会話ができるかどうか分からなかったため、自信があまりありませんでした。

しかし日本に来てからは、この考え方の全てが変わりました。もちろん初めはまだ自信がなかったのですが、日本語を勉強して、日本を経験していくなかで、じょじょに日本語の能力がのびるようになりました。初めは言いたいことがいっぱいあっても言えなかったのですが、今は言いたいことが伝えられるようになったと思います。この一年間で他のことも経験しましたが、このことは一番満足しています。



もちろんこれはお茶大の先生のおかげです。お茶大で一番良いと思ったことは、先生と学生の関係と先生のくださったサポートだと思います。先生は大学や勉強だけではなくて、日本の生活面、特に区役所の手続きについてよくサポートしてくださいました。先生のおかげで、日本語にも日本の生活にもなれることができ、自信もつきました。そしてお茶大に住んでいるおじいちゃん猫達からもよく元気もらいました。

勉強以外では、もちろんいっぱい旅行もしました。北海道、千葉、大阪、名古屋、京都、江ノ島、山梨。この中には自分で行った所も、友達と一緒にいった所も、大学のかたと一緒にいった所もあります。日本の各所で色々な経験をして、とても面白かったと思います。色々な国から来た友達やお茶大の学



生と仲良くなること、また自分のことをもっとわかるようになることも、とても大切だと思いますので、このことを日本で経験できて嬉しいです。

次の学期に来る予定の交換留学生へ伝えたいことは、多分このようなことです：日本語の勉強をよくすれば、決して無駄にはなりません。日本に来るまでいっしょけんめいに勉強していたとしたら、心配しないでください。日本で過ごす時間は、人生で一番大切な時間になるかもしれません。